

中学校における特別支援教室モデル事業の実施結果について

1 目的及び経緯

東京都教育委員会は、小学校における特別支援教室に引き続き、中学校における特別支援教室モデル事業を実施し、中学校の実情に即した在籍校・在籍学級における発達障害の生徒への支援体制に関する具体的な課題や必要な対応策について研究・検証を行うこととした。

そこで、目黒区教育委員会は、東京都から葛飾区、狛江市、日野市とともに委託区市として2ヵ年（平成28年度・平成29年度）の指定を受けた。

2 平成29年度実施状況

別紙1「平成29年度中学校における特別支援教室モデル事業進行管理表」のとおり実施した。

3 成果と課題

別紙2「目黒区 中学校における特別支援教室モデル事業の成果と課題」のとおり。

4 今後の予定

3月 2日（金）合同校（園）長会報告

4月 中学校における特別支援教室本格実施

以 上

平成29年度目黒区立中学校における特別支援教室モデル事業進行管理表

【全体計画】

(平成30年1月末現在)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
特別支援教室導入	拠点校数 1校 導入学校数 9校/全9校	拠点校数 1校 導入学校数 9校/全9校	本格実施 (検討課題) 拠点校数 1校または、1校⇒2校 導入学校数 9校/全9校

【年次計画 (平成29年度)】

区分	課題と目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教室整備等	・教室環境の把握 ・必要な環境整備についての検討 ・教材・教具の整備 ・巡回指導の円滑実施に向けた拠点校数の検討	・教室環境調査 ・巡回指導の円滑実施に向けた拠点校数の検討	教材・教具の整備										
検討体制	・中学校における特別支援教室検証委員会作業部会での検討の実施 ・中学校における特別支援教室検証委員会での検証の実施			・第4回中学校における特別支援教室検証委員会作業部会での検討 6/29				・第4回中学校における特別支援教室検証委員会での検証 10/5			・第5回中学校における特別支援教室検証委員会作業部会での検討 1/26	・第5回中学校における特別支援教室検証委員会での検証 2/9	
巡回指導体制	・巡回指導体制の設定に向けた手順及び留意点の再検証	巡回指導体制の最終確認・巡回指導開始									次年度の巡回体制の検討		
指導開始・終了	・中学校特別支援教室利用支援委員会の開催 ・指導の評価・開始・終了の在り方について検討	指導の開始と終了の在り方について検討			・第1回利用支援委員会 7/18 (4名)		・第2回利用支援委員会 9/28 (2名)			・第3回利用支援委員会 12/7 (3名)	・第4回利用支援委員会 1/25 (4名)		
相談機能	・指導時間とは別に生徒の相談の実施 ・スクールカウンセラーとの連携体制を構築し、相談機能の充実 ・相談に関する実践事例の蓄積と検証	・相談機能検討・実施 ・スクールカウンセラーとの連絡会 4/26					・スクールカウンセラーとの連絡会 9/27				・進路指導について在籍校との打ち合わせ	・スクールカウンセラーとの連絡会 2/21	

区分	課題と目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教員等の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍学級と拠点校で作成する個別指導計画や連携型個別指導計画・連絡帳の有用性の確認と様式の再検討 ・学校生活支援シートの活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍生徒にかかる学校生活支援シートの作成の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター連絡会における小中連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携型個別指導計画、連絡帳等の再検討 	→						<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター連絡会における小中連携 			
教員の専門性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者による巡回指導の実施 ・OJT等による教員の専門性の向上 ・特別支援教室モデル事業協力員の指導・助言による教員の専門性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTの在り方検討・協力員による助言 		<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者による巡回指導6/5(1校) 			<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者による巡回指導9/22(1校) 			<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者による巡回指導12/14(1校) 				
理解啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・各校における特別支援教室モデル事業説明会の実施 ・各校における発達障害に関する校内研修の実施 ・理解啓発授業の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・第七中学校つばさ保護者説明会 ・講演会、就学相談説明会5/24・5/27(106名) ・周知用リーフレットの作成、各校あて配布(3500枚を小学校6年生、中学校1・2年生全員に配布) ・区報による理解啓発(5月15日号) ・各校における校内研修会等の実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・区報による理解啓発(9月15日号) 		<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、モデル事業説明会11/18(72名) 					

目黒区 中学校における特別支援教室モデル事業の成果と課題

1 実施状況

(1) 利用生徒数

(単位：人)

学校名	第一中学校	第七中学校	第八中学校	第九中学校	第十中学校	第十一中学校	東山中学校	目黒中央中学校	大鳥中学校	合計
平成28年度 (平成29年3月1日現在)	1	5	3	-	-	1	2	-	1	13
平成29年度 (平成29年12月未現在)	5	4	6	2	3	2	5	1	4	32
平成30年度 (平成30年4月1日見込み)	5	2	5	2	4	4	5	2	4	33

(2) 巡回による指導

ア 拠点校

目黒区立第七中学校

イ 巡回指導教員等

平成28年度				平成29年度			
巡回指導教員	3人	特別支援教室 モデル事業協力員	1人	巡回指導教員	4人	特別支援教室 モデル事業協力員	1人

ウ 指導体制と週の日程

拠点校校長は、巡回校1校につき主に指導を担当する教員を1名指定し、その担当教員が巡回による指導を実施した。

(平成29年12月未現在)

曜日	月					火					水					木					金				
	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
出動	拠点校指導	巡回指導																							
1	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導
2	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導
3	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導
4	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導
給食	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導
5	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導
6	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導
退勤	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導

(3) 生徒1人あたりの指導時数

(平成29年12月未現在)

指導時数	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	8時間	計
利用人数	4人	21人	2人	1人	2人	2人	32人

2 成果

(1) 生徒が抱える困難さに対応した指導・支援の充実

- 巡回指導教員が各校を巡回し、生徒の在籍学級での状況を十分に観察することにより、生徒が在籍学級で抱える困難さをより一層的確に把握でき、個々の生徒の課題に応じた指導・支援が充実した。
- 巡回指導教員と在籍学級担任、教科担任、保護者等が、「連携型個別指導計画」や「学びの窓（連絡帳）」を活用して連絡・連携し、特別支援教室での指導・支援内容を在籍学級における指導・支援につなげ相互連携・相互補完することにより、生徒の学習能力の向上や集団適応能力の向上のための指導・支援が充実した。
- 教員の授業力を高めるために教員の自己の課題を明確にし、OJTによる指導・助言を受けることのできる「自己診断シート」を導入することで指導・支援を充実させることができた。

(2) 指導・支援の継続

- 小学校における特別支援教室での指導・支援を受けていた児童について、中学校においても引き続き特別支援教室で指導をする場合の利用までの手続を新たに設定したことで、小学校から中学校への円滑かつ確実な指導・支援の引継ぎを行い、個々の課題に応じ継続した指導・支援ができるようになった。

(3) 指導・支援の早期開始

- 巡回指導教員が、特別支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーとともに在籍学級での行動観察を行うことにより、特別支援教室を利用していない生徒の障害に起因する困難さに早期に気づき、在籍学級や特別支援教室での指導・支援に早期につなげることができた。

(4) 生徒の負担や不安の軽減

- 在籍校において巡回による指導を受けられることや、在籍学級の時間割等に応じて特別支援教室での指導を柔軟に設定できることにより、他校への移動に伴う生徒の負担や、在籍学級での指導を受けられない時間に対する生徒の不安を軽減することができた。
- 生徒の自尊感情や気持ちを把握するための「自分の心シート」「リクエストシート」等を新たに開発・導入・活用し、本人の自尊感情を培いながら自己理解・自己受容を促すことで、生徒の不安を軽減するとともに、将来の自己実現に向けたイメージをもたせることができた。
- 特別支援教室の相談機能として、巡回指導教員が中心となって生徒の進路や人間関係の不安等の相談を受けることにより、生徒の不安を軽減し心理的安定を促すことができた。

(5) 特別支援教育への理解啓発の促進

- 特別な支援が必要な生徒に対して身近な在籍校で指導が行われ、その成果が在籍学級で具体的に表れることにより、在籍校の教員、生徒、保護者等の理解啓発が進み、各校で支援を必要とする生徒に適切に支援を行うことができるようになった。
- 巡回指導教員が、各巡回校で特別支援教育コーディネーター（副）としての役割を担い、巡回校の研修会や保護者会、校内委員会等において講演や説明等を行ったり、巡回校の教職員や保護者からの特別支援教育に関する相談を受けたりすることにより、特別支援教育への理解啓発の促進が図れた。

3 課題

(1) 特別支援教育の更なる理解啓発の促進

在籍学級で少しでも困難さを抱えている全ての生徒が、個々の教育的ニーズに応じた適切な支援を隠すことなく受けられるように、全都の先進的な取組や目黒区の各校の工夫事例等を基に、今後も更に一層の在籍校の教員、生徒、保護者等の理解啓発を促進する。

(2) 在籍学級と特別支援教室の更なる連携の強化

特別支援教室を利用している生徒が在籍学級で自分のもてる力を十分に発揮し、充実感と達成感をもって授業に参加できるようになるために、在籍学級と特別支援教室の指導・支援の共通化・相互補完性を高め一貫性のある効果的な指導・支援を実施する必要がある。在籍学級と特別支援教室が連携した実態把握、退級に向けた指導目標の設定とその手だての共有、実際の指導・支援の充実等を目指し、今後も更に一層の連携の強化を図る。